企業・団体名（　松山油脂株式会社　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。 ・管理職を対象としたハラスメント研修を実施している。 ・ハラスメント相談窓口（総務経理部）を設置している。					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・労働基準法等の内容を理解し、長時間労働是正のための労働生産性の改善、労働時間管理体制、多様な働き方を許容する勤務体制の整備、対応を行なっている。								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・現在、外国人労働者はほぼいない状況であるが、雇用した場合には日本人スタッフと全く同じ処遇をする。				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・作業中の事故等を防ぐため、機械等へ安全対策を施し、安全衛生委員会にて安全で衛生的な労働環境を整備するための意見交換を行い、改善を図っている。			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施している。 ・ストレスチェックの実施と必要に応じた対策を実施している。 ・メンタルヘルスに対応した休職制度を整備している。			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・短時間勤務制度、週休3日制度、定年後の再雇用制度などを導入している。 ・障がいの種類や程度に応じた雇用のために、関連団体と連携を図っている。					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・健康経営優良法人認定を取得するための取り組みを開始している。			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・職務や役割に応じた研修やセミナーの受講機会を提供している。				○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	・パートタイム労働法、労働契約法等の内容を理解し、同一労働同一賃金の原則に沿った体制の整備・対応を行なっている。								○		○							

11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・廃棄物の種類・量を把握し、出来るだけ焼却処分せず、分別・リサイクルに努めている。										○	○		○			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・富士河口湖工場、墨田工場共、省エネ診断を実施し、その結果に基づき、計画的にエネルギー利用の効率化を進め、LEDへの切り替えや、省エネ機器への交換など、必要な措置を順次実施している。						○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・SCOPE１、２の排出量を把握し、脱炭素に向けたロードマップを策定し実行している。						○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・原料、排水処理用途の毒劇物は、法令に則り適切な保管と表示を行なっている。			○		○					○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・水の使用量と工場排水について、関係法令を遵守している。 ・容器のプラスチックを削減するため、詰替えできる製品を増やし、FLEXパウチの開発などの取り組みを行なっている。					○									○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・水使用量低減施策の実施（冷却水循環装置の導入（富士河口湖工場）、使用設備における工夫（墨田工場）） ・排水の清浄度改善（膜分離型排水処理の導入（山神果樹薬草園）、排水の石けん分を分離しリサイクル（富士河口湖工場））					○											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○		○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境												○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・２０２２年９月より、富士河口湖工場の屋根に太陽光発電システム（容量２０６．１１５ｋｗ）を設置し、年間平均約２１％の電力を再生可能エネルギーで賄っている。						○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・２０１９年７月に、RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）に加盟し、２０２１年４月より、RSPOマスバランス認証油の調達を開始している。											○	○	○	○		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・プラスチック製の製品本体容器の廃棄を減らし繰り返し利用を促すため、２０年以上前から詰替え製品の販売を行っている。２０２２年には、キズや変形などで出荷できない製品や、季節切替えで返品された製品をアップサイクルして販売する新たなブランドもスタートした。また、直営店の店頭で製品に使用したガラスびんを顧客から回収し、洗浄の上、製品容器としてリユースする取組もスタートしている。					○					○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・汚職・贈収賄禁止等を含む就業規則の整備と社内浸透															○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・不正競争禁止等を含む就業規則の整備と社内浸透															○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・特許、商標等知的財産権の取得・管理							○	○								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・個人情報の取り扱いに対する教育を行ない、取扱者を制限している。 ・個人情報を含め、秘密保持契約をスタッフと締結している。															○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会					○			○		○		○	○	○	○	○	○

28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・化粧品GMPに沿い体系立てた組織によって、品質が保たれる体制をとっている。 ・品質保証部による各事業所の内部監査を定期的に行う取り組みがある。			○								○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・化粧品GMP（ＩＳＯ２２７１６）の考えに沿って施設、生産、品質を構築し、管理運営を行なっている。									○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境						○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・地域の環境に悪影響を及ぼさないように、工場排水の適切な処理を行っている。 ・排水の石けん分を固形分として取り除く装置（ドラムドライヤー）を稼働させている。				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・年２回、富士河口湖工場周辺の富士山登山道の清掃をボランティアで行なっている。 ・年３回、オープンファクトリーというイベントを開催し、工場見学やファクトリーセールを通じて地域のお客様と交流を図っている。				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済	・富士河口湖町で育てたラベンダーを利用して、雑貨（サシェ）を製造・販売している。 ・富士山の伏流水を敷地内井戸から汲み上げ、スキンケア製品や石けんの製造を行なっている。								○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・職務や役割に応じてコンプライアンスに関する教育を実施している。															○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営理念を明文化している。 ・経営者が適時、経営理念、経営目標をスタッフへ伝えている。								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会																○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済																○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会																○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会																○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・BCPの策定、定期的な訓練を実施している。									○		○		○			○	

43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済									○	○								○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域に合った循環型農業への取り組み	・山梨県の名産である桃果実のうち、キズや過熟などのために青果として出荷できない桃果実を買い取り、新たな化粧品原料「モモ果汁発酵液」を開発した。価値の低いものを価値の高いものへと生まれ変わらせて、循環型農業を実現するための取り組みを開始している。								○	○		○	○			○		○
アップサイクルブランドREES:PRODUCTS	・化粧品メーカーとしてはめずらしい、アップサイクル品のみを集積したブランドを２０２２年よりスタート。規格外で通常販売できない製品や、販売先から未使用で返品された製品・製造工程で排出される廃棄予定の原料を活用し、新しい価値観に合った製品にアップサイクルし、顧客に提案している。								○	○		○	○	○	○			
山神果樹薬草園の取組み	・徳島県佐那河内村にある最も新しい事業所「山神果樹薬草園」では、自社農園で和柑橘の栽培を進めると共に、周辺農家から集めた、キズや規格外などの理由で出荷されない和柑橘を原料に、精油を抽出し、果汁・果肉・内皮をジュースやジャム、リキュールやコーディアルに加工し販売。その収益で、再度周辺農家から果実を買い取るという、松山油脂が考える、循環型果樹農業を実践している。								○	○		○	○			○		○